

## 夏ー7 スーパーで買い物

### 1. 活動の目的

- ①スーパーで上手に買い物する。
- ②スーパーの値段表示や食品表示がわかる。
- ③レジで、店員に聞かれることに答えられる。

### 2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

- ・スーパーのチラシ 「広告の品」「お買い得品」などの文字があると尚よい。
- ・消費期限や賞味期限、成分表などが書かれた食品のパッケージ

※上記2つはなくても活動できるが、実物があると生活につながった活動ができる。

### 3. 活動の手順

**留**：留意点    **参**：参考    **発**：発展的活動

#### 活動1

- ・ジョイさんの話を読んで、国ではどんなところで買い物していたか聞いてみる。
- ・日本で、スーパーではなく、市場や商店街の店で食料品を買っている学習者がいたら、その理由を聞いてみる。

**参** 文中の「市場」は多くの店が集まって対面販売する、いわゆる‘マーケット’のこと。

#### 活動2

スーパーの  
チラシ

- ・値引きを表すいろいろな表示を紹介し、覚えてもらう。特に「〇割引」という表示は、〇割の値段だと思える学習者がいるかもしれないので、「いくらですか」で確認する。
- ・価格は「本体価格」と「税込価格」の両方が書かれている場合があり、実際に払うのは「税込価格」であることも言うておく。

**発** 活動2は「値引きの表示を知って、安く買う」というのが活動の目的だが、野菜売り場の場面なので、学習者の興味があれば、売っている野菜について話を広げてもよい。

国では見たことがない野菜や、よく見るけれど買ったことがない野菜、また、売り方（量り売りをあまりしない、きれいに並べられているなど）の違いなどが話題にできる。

#### 活動3

**留** スーパーで日本語でのコミュニケーションが必要な場面として魚売り場を取り上げた。日本は魚が豊富で新鮮な魚が手に入ること、下処理もしてくれることを紹介し、学習者が魚を食べてみようと思えるような活動にする。

- ・魚が好きかどうか、よく魚を食べるか、聞いてみる。
- ・日本のスーパーの魚売り場について、意見や感想を聞く。
- ・スーパーで魚の下処理をしてもらえることを知っているか、聞いてみる。

#### 活動4

消費期限や賞味期限が書かれた食品のパッケージ

**留** 下処理の言い方はテキスト以外にもあると思うが、ここではまずテキストの言い方で練習する。その後で他の言い方、例えばボランティア自身が使っている言い方を紹介するとよい。

**参** 消費期限：その年月日までは「安全に食べられる」という期限を示している。主に、弁当やおかずなど、傷みやすい食品につけられる。  
賞味期限：その年月日までは「品質が保たれ、おいしく、安全に食べられる」という期限を示している。消費期限に比べ、傷みにくい食品につけられる。日付を過ぎると、すぐに食べられなくなる、というわけではないが、早いうちに食べたほうがよい。

消費期限も賞味期限も「袋や容器を開けないで」「書かれた保存方法を守って保存している」場合の、安全やおいしさを約束したもの。

**発** 学習者の中に宗教上の理由で豚肉を食べない人がいる場合は、原材料に豚肉由来のものが入っていないかを店の人に尋ねる言い方を紹介する。

#### 活動5

- ・レジで店員に何か言われてわからなかった経験がないか、聞いてみる。
- ・テキストに載っているレジ系の質問に答える練習をする。